兵庫県立いなみ野特別支援学校　あおの訪問学級通信

わかくさ

R2.11.19
発行
第 372 号

寒い冬がやってきました・・・

１１月も下旬にさしかかり、寒さが増しています。今年の冬は寒くなるといわれていますね。昨年は、訪問学級前のプランターで育てていたこぼれ種から咲いたアサガオが、冬の間も咲いていたのを覚えています。それぐらい温かい冬を経験しましたので、これからの冬の寒さが思いやられます。

訪問学級は、病院からの許可をいただき、１０月２６日より授業時間が３０分間になりました。それまでの１５分授業の時は、とても慌ただしく、どうしても詰め込んだ授業内容になってしまいましたが、今は少し余裕をもって、落ち着いた状態で授業ができていると感じます。また、可能な児童生徒については、病棟ごとに曜日を決めて、教室で週１コマの授業をすることができるようにもなりました。そのおかげで、私は、授業時間前後に、少し離れた場所から、児童生徒たちに声をかけることができるようになりました。出会って声をかけると、私の方が元気になります！！

さて、早いもので、２学期もあと１カ月と少しで終わりになります。世の中では、寒さに連れて、新型コロナウイルスの新規感染者が、増加傾向にあります。今後も、引き続き感染防止対策をしっかり行った上で、残りの１カ月を、有意義なものにしていきたいと思います。

次回はクリスマスプレゼントをお届けしますね。お楽しみに！　（教頭　黒田　勝）

１２月の予定　　２４日（木）　２学期終業式
★例年、療育指導室と共催で行ってきたクリスマス会ですが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、療育指導室単独で行われます。訪問学級は、授業の中でクリスマスに触れていく予定です。

西3病棟

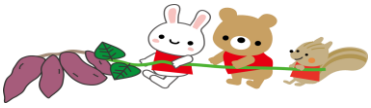
西３病棟では、中秋の名月には、毛糸を丸めてうさぎを作ったり、月のランプでお月見をしたりしました。きれいな月の光に思わずうっとり。味覚狩りでは芋ほりに挑戦しました。蔓をしっかり引っ張って大小さまざまなサツマイモが採れました。また、様々な素材の感触を味わいながら、おいしそうなサツマイモの制作も行いました。秋の虫の鳴く様子を見聞きし、虫のぬいぐるみと触れ合ったりもしました。ハロウィンには、素敵な仮装をして、おばけ倒しゲームや、お菓子のつかみ取りを楽しみました。

西2病棟

中秋の名月である１日の夜は、満月が美しく見えました。西２の児童生徒たちも、きれいな満月を描いたり、お餅をついたり、団子を丸めたりして十五夜にそなえました。真剣な表情でペンを手にし、月に色づけをする様子からは、美しく描きたいという気持ちが伝わってきました。また、花紙や紙粘土を握りしめて丸め、団子を作りました。さらに、秋の収穫体験をしました。芋ほり体験では、蔓をひっぱり、様々な形のサツマイモを掘り出しました。リンゴ狩り体験では、自ら手を伸ばしてリンゴをもぎ取り、はじけるような笑顔を浮かべていました。

東3病棟

１０月は各ベッドサイドでハロウィンを楽しみました。まずは魔法使い、魔女、おばけかぼちゃ等の仮装をしました。周囲の病棟スタッフさんたちに「かわいい！」と絶賛されました。ＶＯＣＡ等を利用して、「トリック・オア・トリート」を上手に伝え、全員お菓子をもらうことができました。キャンディーのにおいにうっとり！福笑いを楽しみながらジャック・オー・ランタンやハロウィンカードを作ったり、ペープサートシアターを見たりして、今年もハロウィンを満喫することができました。

東2病棟

秋も深まってきました。１０月は季節にちなんだ学習がいっぱいでした。何といっても実りの秋。本物のイガはさすがにさわれないけれど、栗や柿、サツマイモなどに触れ、数の学習や制作等を存分に楽しみました。「好きな物ランキング！」なるものを発表して、病棟スタッフさんとその話題でおおいに盛り上がった人もいました。そしてハロウィン！病棟内をハロウィンの曲に合わせてパレード。病棟スタッフさんと楽しくゲームをしたり、会話が弾んだりして、嬉しいひと時となりました。